

令和元年度

「長寿を祝福する会」を開催



④上記は写真データを広報部で誤って消去してしまったため前年度の写真をイメージとして掲載しています。

去る9月13日(金)午前11時から北郷会館2階ホールで今年度の「長寿を祝福する会」が開催されました。事前に75歳以上の参加対象者の皆さんに町内役員よりご案内したところ30名の参加があり、当日は虹川福祉厚生副部長の司会で最初に鈴木勝博町内会長の挨拶の後、長寿を祝福しての乾杯があり、テーブル上には女性部の心尽くしの料理の数々とステージ上でついた餅をお雑煮にして振舞われました。

途中にはお菓子が当たる抽選会やおみやげにつきたてのお餅が配られ、いよいよお待ちかねのカラオケに移ると、日頃見せていました。

また当日参加出来なかつた皆さんには、後日町内役員より記念品をお渡ししました。

来年もまた行われる予定ですが、どうか健康に留意されお元気な姿でのご参加をお待ちしています。



令和元年12月
恒例の
発行人 鈴木 勝博
編集人 田中 啓二

日帰り新篠津村バス旅行を開催

令和元年10月18日(金)朝、澄み渡る秋晴れの中、第7町内会24名の参加者で新篠津村「たっぷの湯」に向けて出発した。新篠津村は空知管内に広がる篠津原野の中心地で江別市と当別町に隣接しており、明治29年に篠津村から分離して誕生した。昭和26年以降に川をせき止めた「しのつ湖」の周辺にキャンプ場やゴルフ場が増設され、平成10年に食塩泉のかけ流し天然温泉「しんしのつたっぷの湯」が建設された。一行24名は到着後、温泉に浸かり恒例の俳句大会へのイメージを巡らせながら日ごろの疲れを癒した。

懇親会の前には各自が俳句をひねり親栄町内会俳句教室の高沢氏に提出し、綿谷副会長の乾杯の音頭で開宴した。美味しい食事と温泉に浸かった後のビールはまた格別で宴も進み、俳句の表彰となり、その後日ごろ鍛えた自慢の喉をカラオケで披露し、軽やかな内にお開きとなりました。

帰りの車中では高澤氏より俳句の総評があり、また来年の大会に思いを馳せ午後3時過ぎに無事帰還しました。(各表彰者は次の方々です)

最優秀賞 綿谷 隆さん
【鳥渡る篠津の空に湯の煙】

優秀賞 岡 春夫さん
【たっぷの湯湖水に映える紅葉燃ゆ】

鈴木会長賞 遠藤 敬子さん
【たっぷの湯秋空の下ハイキング】

高澤賞 村上 みわさん
【秋空の遠く平野に暑寒別】



第6回

餅つき・餅まき大会を開催

第7町内会歳末の恒例行事となつた餅つき・餅まき大会が、先日12月1日(日)12時より白石ゴム製作所駐車場にて開催されました。前日から餅まき用の餅をつき、さらにはお雑煮用の出汁と具材の下ごしらえへの準備に取り掛かりました。

当日の天気模様は冷たい雨がぱらつく中、役員一同10時30分より会場設営と準備作業を始め、開始30分前頃から集まってきた町内の方へ、つきたての餅が入ったお雑煮をお代わり自由に食べて頂き、甘酒で冷えた体を温めながら和氣あいあいと開始時間を持ちました。

その間に既に来ていた子ども達に餅つきの体験をしてもらいながら、親御さんたちに思い出の写真を撮って頂きました。そして、いよいよお待ちかねの餅まきの時間となり、約160名の参加者がレジ袋を持ち、視線は作業場の屋根にいる4人の餅まき人に注がれ、それぞれに「こっちへ頂戴」コールが鳴り響き一気にテンションが上がり、餅入り袋が撒かれるごとにボルテージは最高になり、甘酒で冷えた体を温めながら和氣あいあいと餅つき大会が始まりました。

子ども達は機敏に沢山取る子も居れば中々取れない子も居るので、時には譲つたり配慮もお願いして約30分で600袋を撒き終わりました。今年から1個も取れなかつた方には別途用意して帰りにお渡ししたため皆さんに大喜びされました。また来年も開催したいと思いますが、年々役員の高齢化で餅のつき手が不足しており若手のお父さん方のご協力を何卒お願い致します。

